【事例７】 平成〇○年度　幼稚園学校評価計画表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 幼稚園教育目標 | 〇かんがえて　こうどうする子  〇すなおで　あかるい子  〇じょうぶでたくましい子 | 経営理念 | 職員相互の和、信頼を大切にした協働態勢を確立し、生活の中で自発的、主体的に環境にかかわり直接的、具体的な体験をとおして生きる力の基礎となる心情、意欲、態度を身に付けた幼児の育成をめざすとともに、保護者から信頼される園経営に努める。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 重点目標 | 目標達成のための具体的取り組み  （保育実践内容等） | 学校経営目標に対する評価項目（４段階中３以上を目指す） | | |
| 職員自己評価（４段階評価） | 評価場面及び評価の根拠等 | 関連する保護者アンケート（４段階評価） |
| 園 経 営 ・ 教 育 課 程 | ○信頼関係を構築し、全職員参画の園経営を推進する。  ○目指す幼稚園像：信頼される園、　開かれた園づくりを推進する（家　庭、地域との連携の充実）  ○幼稚園教育要領の内容を理解し、　地域、社会、幼児の実態を踏まえた育課程の編成と改善に努める。  ○小学校と連携した教育活動を充実させる。 | ① 職員会議、園内研修など共通確認する時間を確保する。  ② 週報を新たに発行し､共通理解を図る。  ③ 園だよりや必要に応じて園からのお知らせを発行する。保護者との連絡帳の活用を推進する。  ④ 園長だよりを新たに発行する。  ⑤ 学校評価(保護者アンケート)を実施する  ⑥ 絶えず幼稚園教育要領を開き、活用する機会を充実する。  ⑦ 新教育要領実施に向け、学習会を実施する。  ⑧ 学校評価(自己評価・学校関係者評価)を実施する  ⑨ 幼小連携年間指導計画の見直しとそれに沿った実践 の充実を図る。  ⑩ 接続(アプローチカリキュラム)を実践する。 | ・月１回の職員会議と、毎週週礼をもち共通理解、共通確認を図る話し合いを行っている。  ・月１回園内研修の時間を確保している。 | ≪園内研修の実施回数と内容**≫**  ・教育計画や教育課程基本方針や学級経営案が共通理解と共通実践が図られている。 | ・幼稚園は、教育方針や指導内容などを分　かりやすく伝えている。 |
| ・園だより等を通し保育内容や園児の様子を保護者にわかりやすく伝えている。  ・保護者アンケートを通して、保護者の意見や要望を把握し改善を図っている。  ・送迎時の連絡や出席ノート等の記録を通して、保護者との連携を図っている。 | ≪保護者アンケートの実施≫  ・公開保育の実施園行事への招待、園児の実態や保護者の願い、意見  ・保育参観の参加状況園だより、学級だよりの発行状況や内容 | ・幼稚園は、家庭への連絡や理解を図ることを積極的に行っている。  ・教職員は、子どものことについて、気軽  　に相談にのってくれる。  ・幼稚園は地域との連携に努めている。 |
| ・教育目標の実現に向けて、教育課程の編成や指導計画作成等を工夫している。  ・自己評価、学校関係者評価を年に１回以上実施し、その結果に基づき学校運営の改善を図っている。 | ≪ＰＤＣＡサイクルの確立(計画・実践・評価・改善)≫  ・週案、日案の作成状況 |  |
| ・小学校との連携を計画的に進めている。  ・アプローチカリキュラムの充実を図っている。 (協同的な学び) | ≪幼小連携≫  ・交流行事の実施状況  ・小学校職員との連携状況 |  |
| 教　育　活　動 | **かがやきいっぱい**  ○気づき、考え、行動する子を育成　する。(かんがえてこうどうする子)    重点目標：  自分でできることを考えて進んでやる | 1. 分でできることを考えて進んでやるよう支援する。   ② 日常生活の中で言葉、文字等で伝える楽しさに気づかせる指導に努める。   1. 生活に関係の深い地域や施設に関心を持ち、身近な生活の中から簡単な標識、数字、文字などに関心を持たせる工夫をする。   ④ 自分の思いを話す、友だちの話を注意して聞かせる活動を数多く経験して、友だちとの遊びの中から生活の中で必要な言葉を習得させる(したいこと、してほしいことをはっきり言う)  ⑤ 経験したり、感じたことを自分なりに言葉やリズムで表現したり、自由にえがいたり、作ったりする実践を展開する。  ⑥ 絵本の読み聞かせ等をとおして絵本や物語に親しみ想像する楽しさや言葉を豊かにする | ・子どもの興味・関心を引き出すような工夫・配慮をし、自発的に活動できる環境を整備している。 | ≪自発的な活動を促す環境の構成の工夫≫  幼児の遊び時間の観察をする。 | ・幼稚園は、子どもの発達をとらえ、遊び　を中心とした体験的な教育に取り組んで　いる。 |
| ・自分の思いをことばで表現し、伝える喜びを感じ、いろいろな方法で表現する喜びを感じさせる工夫をしている。 | ≪表現力≫  ・話す、聞く場の設定（集会、朝の会・帰りの会での指導）音楽、ものづくりなど自分の思いを話したり表現したりすることができるか、話をきいているか | ・子どもは聞く態度が身についている。 |
| ・絵本や物語に親しみ、興味の広がりや創造す  る楽しさが味わえるよう働きかけている。 | ≪言語活動≫  ・絵本の読み聞かせから創造力を高める取り組みを行う。  ・絵本を読む時間の観察や読後のつぶやき感想を聞く。 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 重点目標 | 目標達成のための具体的取り組み  （保育実践内容等） | 学校経営目標に対する評価項目（３以上を目指す） | | |
| 職員自己評価（４段階評価） | 評価場面及び評価の根拠等 | 関連する保護者アンケート  （４段階評価） |
| 教　　育　　活　　動 | **思いやりいっぱい**  ○豊かな心をもった子を育成する。(すなおであかるい子)    重点目標：友だちなどとのかかわりを深め、思いやりの心をもつ | 1. 友だちと遊びを通したかかわりの中で、喜びや悲しみの共感、年下の子への思いやりなど多様な感情体 験を味わわせる工夫をする。   ② 園内の自然環境に触れ、身近な動植物、虫などに親しみを持って接し、命の大切さや自然の美しさ、不思議さなどに気づかせる環境づくりを工夫する。  ③ よいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動したり、自分の思いをはっきり伝え、相手の思っていることに気づかせる工夫をする（道徳性の芽生え） | ・身近な自然と触れ合い、友だちとの遊びを通して、命の大切さ、よいこと悪いことの区別、思いやりの心など道徳性の芽生えを培う工夫をしている。 | ≪道徳性の芽生え≫  ・動植物の世話や年少児との交流、友だちとかかわらせる、高齢者との触れ合いの場などから園児の様子を観察する。 | ・幼稚園はいじめや不登校などで、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。 |
| 1. 幼小連携の充実や地域、保育所など多くの方々と 触   れさせる体験を通してコミュニケーション能力を育てる。 (小学校教諭との連携、接続カリキュラムの実践) | ・豊かな人間性をはぐくませるために、多くの人とかかわらせる工夫をしている。  ・小学校へ学びと育ちをつなぐことを意識した実践を行っている。 | ≪交流・社交性≫  ・他の保護者や地域の方との交流  ・幼小連携の実施状況、保育所との交流園児の変容を記録 |  |
| 1. 友だちと遊びを通したかかわりの中で、共通の目的を見出し、工夫したり、協力したりするなど共同的な学びの場の環境構成を工夫する。 |  |  |  |
| **元気いっぱい**  ○基本的な生活習慣を身に付けさせ、健康で安全な行動ができる子を育成する。(ねばり強くくましい子)    重点目標：遊びや仕事などをやりとげようとする気 持ちをもつ | 1. 基本的な生活習慣を身に付けていくために、社会体験、自然体験など様々な活動に取り組み、活動を通して生活に必要な習慣や態度が育まれるような保育実践を展開する。 2. 身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排せつなど生活に必要な活動を自分でできるよう努める。   ③ 様々な活動に親しみ、楽しく取り組ませながら、最後まで頑張る意欲や態度を身に付けさせる。   1. 先生や友だちと楽しく食べる活動や食育の実践を通して食べることへの興味・関心を高めていく。   ⑤ 健康、安全な必要な習慣態度を身に付ける。  (避難訓練・交通安全教室、安全な遊び方) | ・基本的な生活習慣を身に付けさせるため幼稚園　生活の場で繰り返し指導をしている。  ・ねばり強さ、がまんする心が育つよう支援を行っている。 | ≪基本的な生活習慣の確立≫  ・あいさつ、歯みがき、準備・片づけ、衣服の脱衣、などが身についているか。  ≪粘り強さ・我慢する心≫  ・物事を最後までやりとげようとしているか。 | ・幼稚園は、あいさつ、歯みがきの習慣準備、片付けなど子ども達に基本的な生活習慣を身に付けさせる指導をしている。  ・子どもは元気よくあいさつをする。 |
| ・日常の健康観察や食事のマナーや大切さなど、子どもの健康に配慮した取り組みを実践している。 | ≪健康状況≫  ・健康状態の把握、遊びを通した健康づくり野菜の栽培～食する活動までの過程を観察。  ・園児の健康状態、食事の様子観察 | ・園は、子ども達の健康状況を把握し、健康に配慮した取り組みを行う。  ・子どもは基本的な生活習慣が身についている(早寝・早起き・朝ご飯等) |
| ・危険な場所、遊び方、避難の時の行動の仕方など安全に気をつけるよう指導している。 | ≪安全管理≫  ・避難訓練や交通安全教室の実施状況  安全遊び方の指導安全に気をつけて行動できているか | ・幼稚園では、子ども達の安全面に配慮している。 |
| 研究・研修 | ○園内外における職員研修の充実を　図る。  ○使命感に燃え、成長する教師を目指す。（目指す教師像） | ① テーマを設定し、全職員で課題解決のための校内研修を実践する。   1. 研究のあしあとを全職員で報告書にまとめる。   ③ 自己の成長のため、教材研究や各種研修会に積極的に参加する。 | ・園内外の研修に積極的に参加して、資質向上、自己研鑽に努めている。 | ≪主体的な研究・研修への参加≫  ・園内研修の実施状況・報告書の作成教材研究  ・各種研修会への参加状況 |  |
| ・子どもの心情を理解し、一人一人に応じた教師の指導や援助は適切であった。 | ≪幼児理解幼児個々の実態の把握と対応≫  ・子どもの声に耳を傾ける  ・適切な対応  ・園にくるのが楽しいで評価 | ・子どもは幼稚園に行くのを楽しみにしている。  ・教職員は、子どものことをよく理解している。 |
| 施設 | ○安全な施設管理に努める。 | 1. 定期的な総合安全点検を実施し、危険個所の改善に 努める。(村教委への報告) 2. 日々の安全点検を実施する。   (毎日の教室環境のチェック) | ・園内外の施設・設備の点検を定期的に行い、適切に安全管理している。 | ≪安全管理≫  ・安全点検の状況と結果の共通理解と改善の実施 |  |